

2024年9月7日

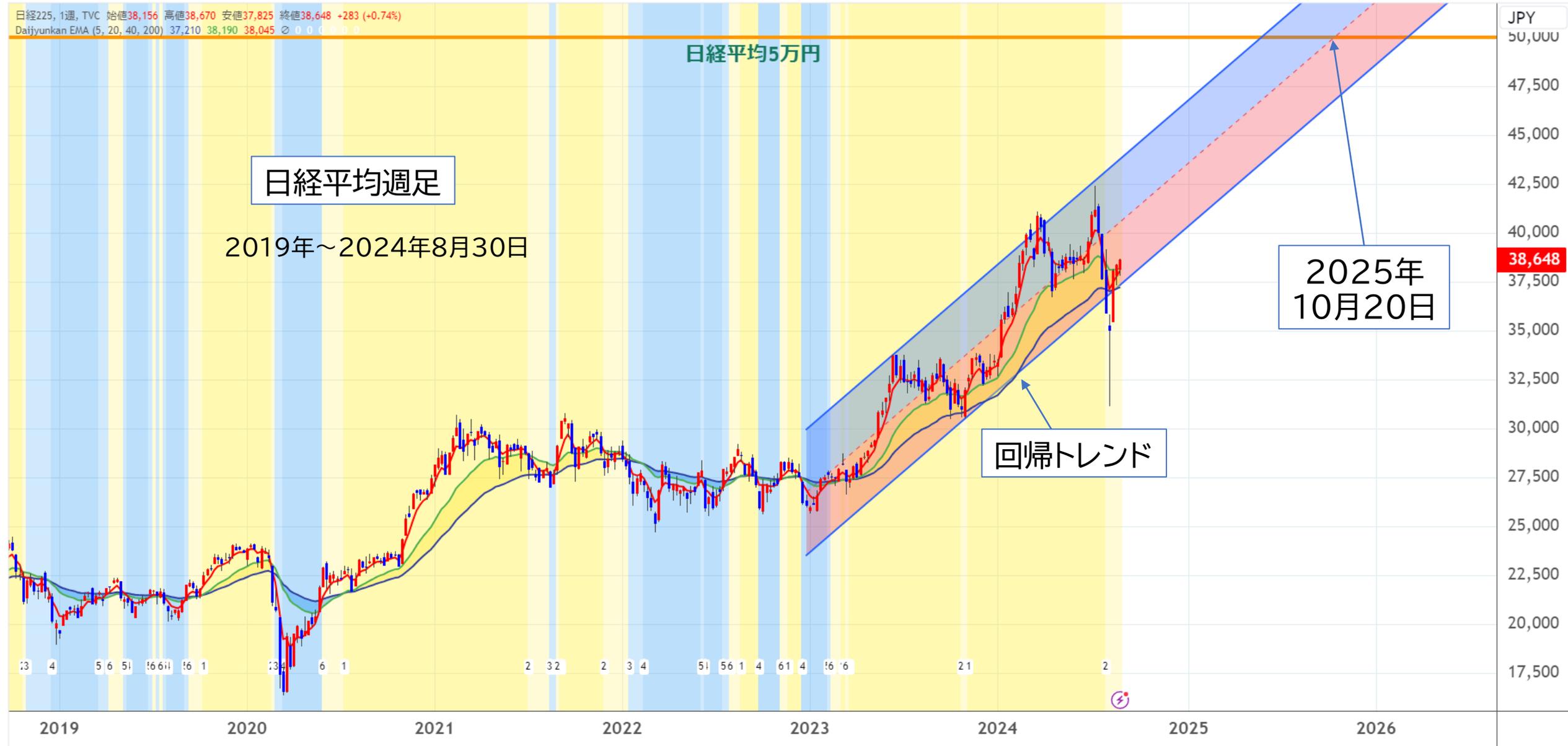
究極の移動平均線 「移動平均線大循環分析」で読み解く 2024年秋相場

～日経平均5万円に向けて～



小次郎講師

日経225, 1週, TVC 始値38,156 高値38,670 安値37,825 終値38,648 +283 (+0.74%)
Daijyunkan EMA (5, 20, 40, 200) 37,210 38,190 38,045 0 0 0 0 0 0



日経225, 1週, TVC 始値38,156 高値38,670 安値37,825 終値38,648 +283 (+0.74%)
Daijyunkan EMA (5, 20, 40, 200) 37,210 38,190 38,045 0 0 0 0 0 0



日経平均週足

2013年~2024年8月30日

長期上昇トレンドは続く

日経225, 1週, PEPPERSTONE +684.5 (+1.78%)
DJI - TVC
CAC40 - TVC
UKX - TVC
DAX - NASDAQ
NIFTY - NSE

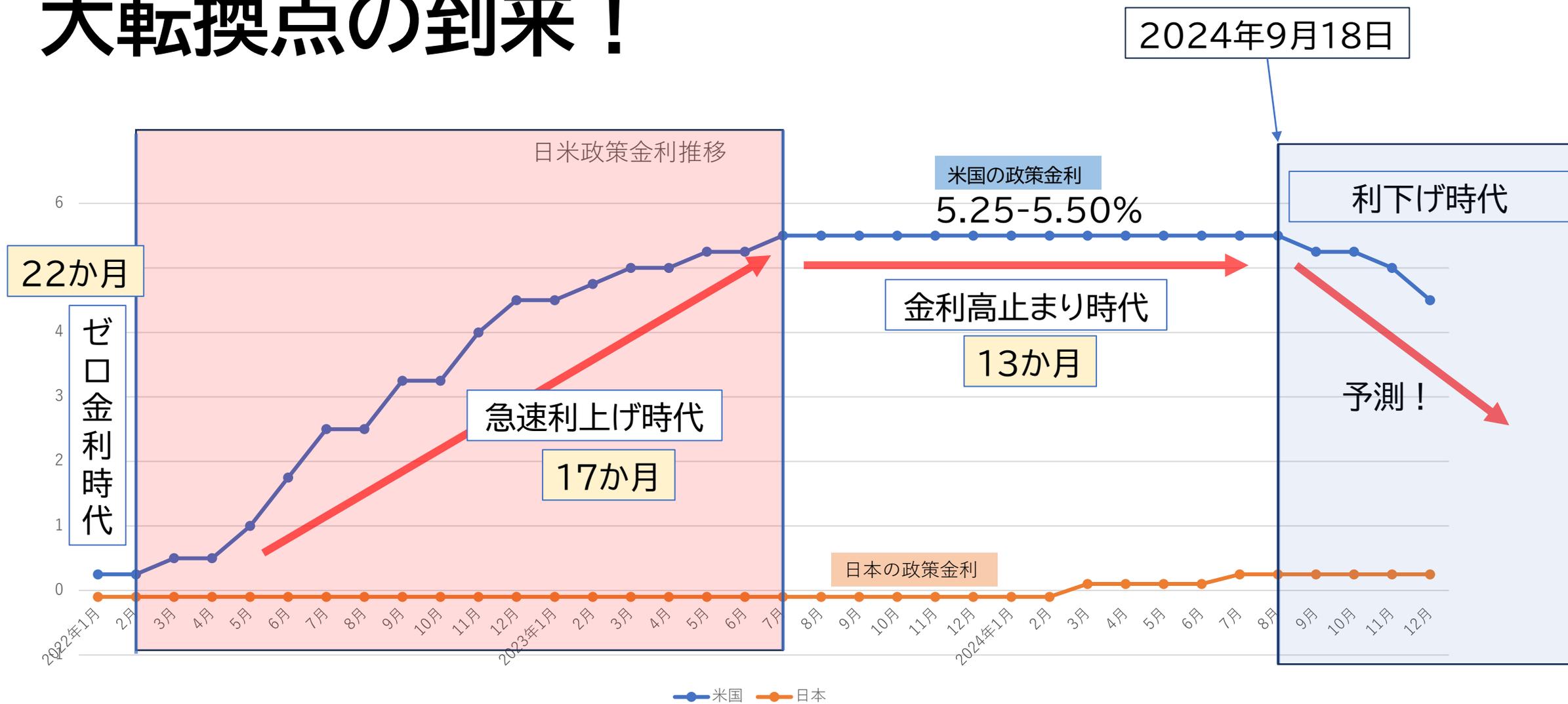
2020年～2024年8月30日 世界の株価指数比較



混合	Z00.00%
NIFTY	+188.56%
DJI	+183.87%
CAC40	+155.76%
DAX	+151.96%
UKX	+142.38%
JPN225	+131.28%

世界の株価は長期右肩上がり！

大転換点の到来！



出所：筆者作成

米金融所得過去最高の540兆円

米国家計金融所得

- 過去最高
- 2024年4-6月期3.7兆ドル(約540兆円)
- 14期連続で過去最高を更新中

日本の家計の金融所得

- 米国の40分の1

米家計の金融資産は過去20年で3倍超に



その間日本は1.5倍！

米株に魅力あり！

出所：日本経済新聞より引用

移動平均線大循環分析とは

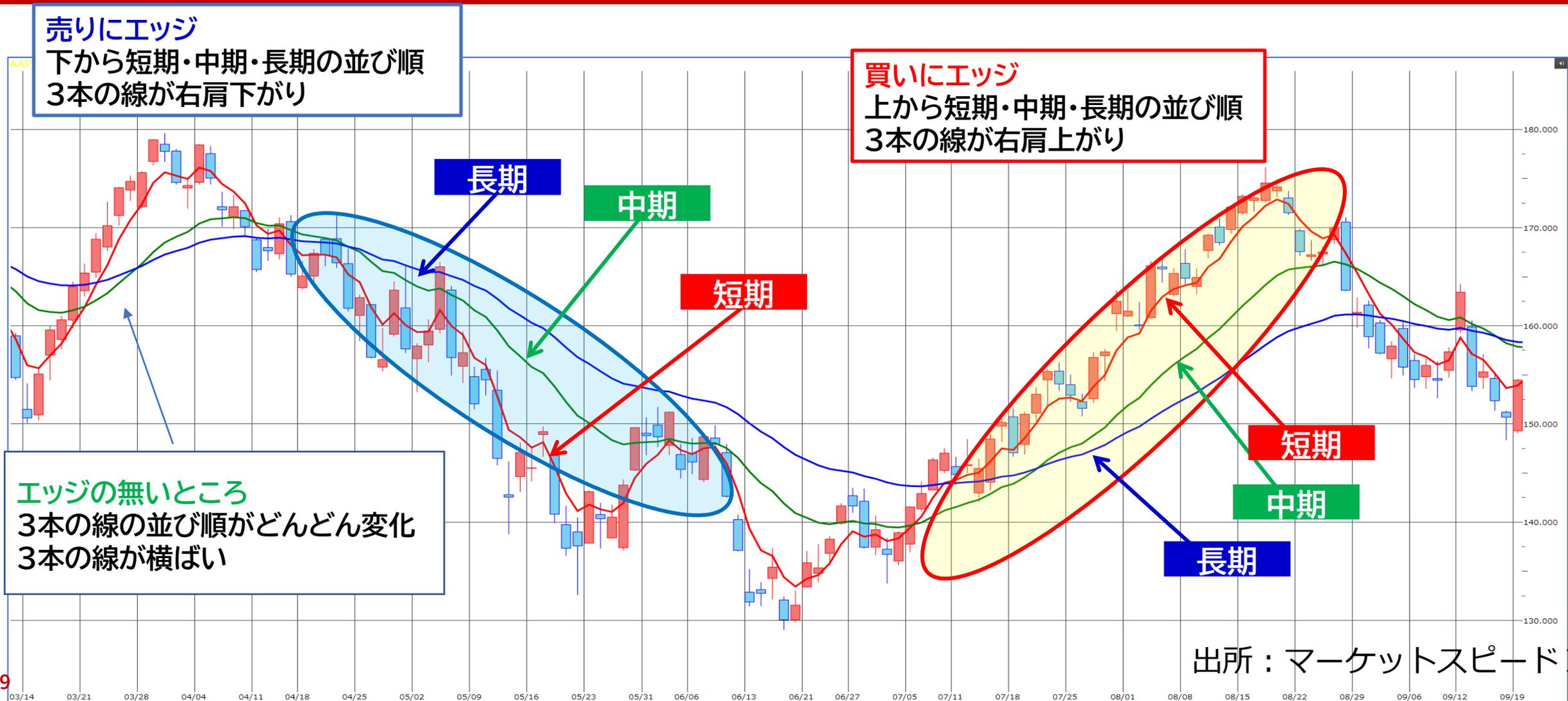
3本の移動平均線を使う

- 短期移動平均線(5日移動平均線)
 - 中期移動平均線(20日移動平均線)
 - 長期移動平均線(40日移動平均線)
- ※EMAを推奨

移動平均線大循環分析の役割

- 3本の線の並び順と傾きでエッジがあるところを浮き彫りにする

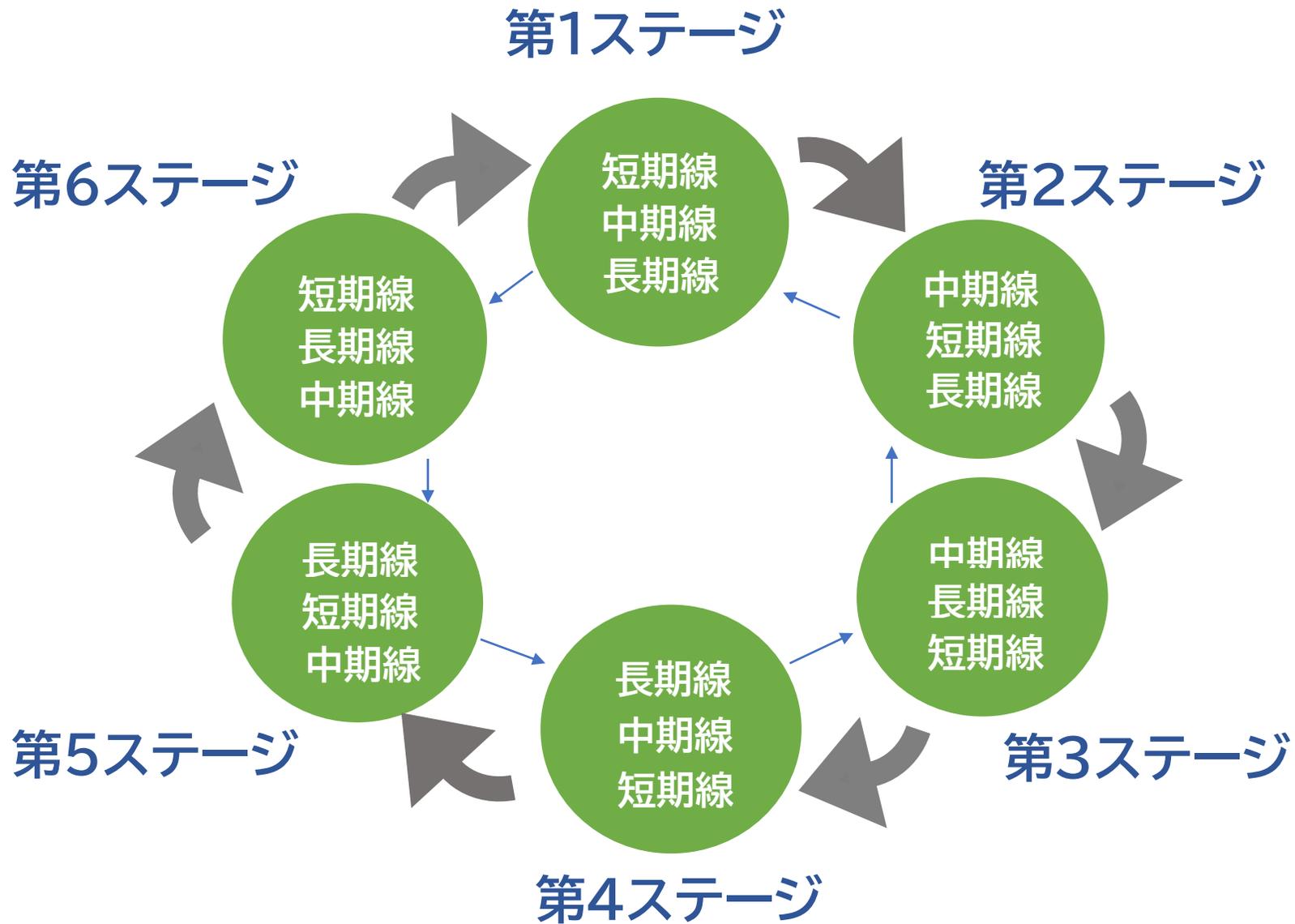
移動平均線大循環分析とは



三本の線の並び順

移動平均線の並び順によるステージ

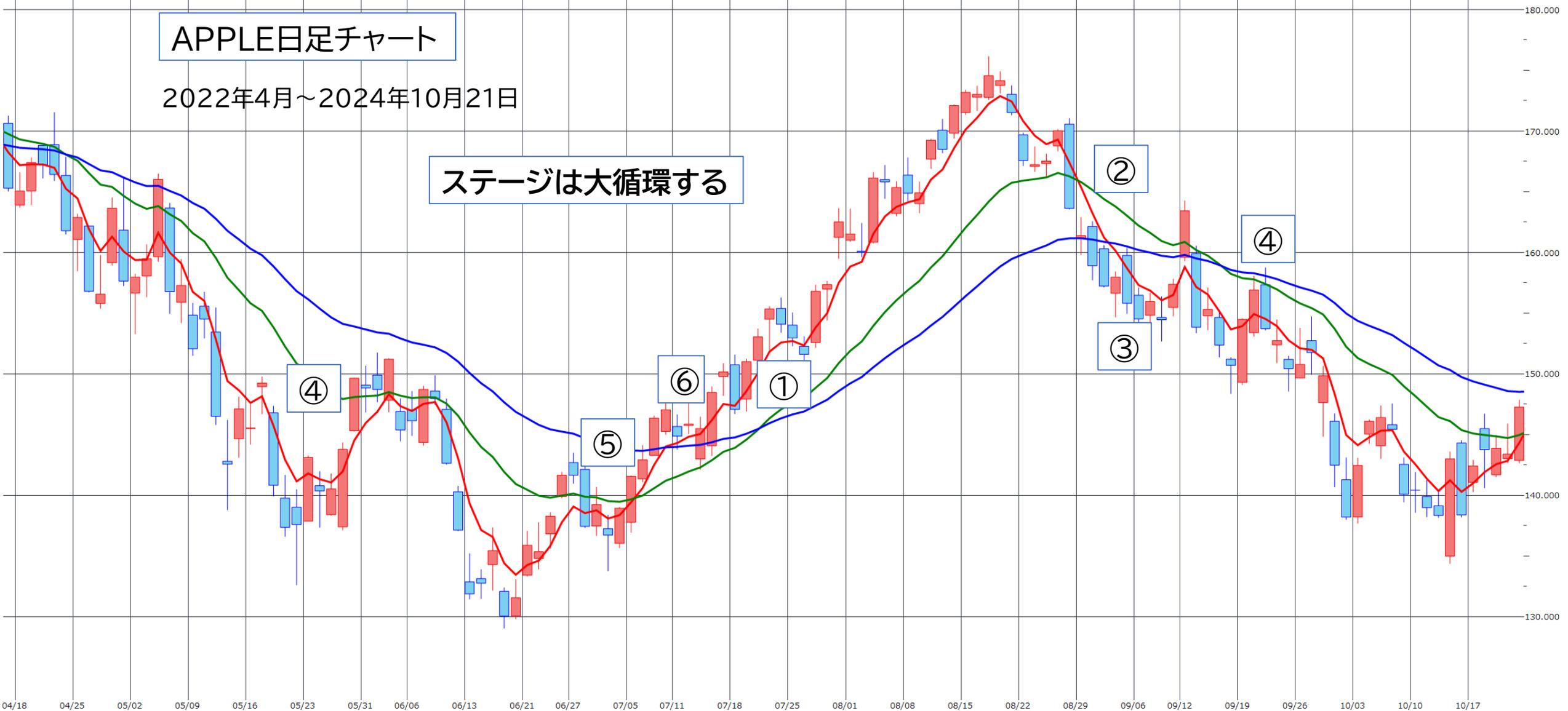
- 第1ステージ・・・上から、短期・中期・長期
- 第2ステージ・・・上から、中期・短期・長期
- 第3ステージ・・・上から、中期・長期・短期
- 第4ステージ・・・上から、長期・中期・短期
- 第5ステージ・・・上から、長期・短期・中期
- 第6ステージ・・・上から、短期・長期・中期



APPLE日足チャート

2022年4月～2024年10月21日

ステージは大循環する



出所：マーケットスピードⅡ

APPLE日足チャート

2024年3月~2024年8月30日

直近のステージの変化



出所：マーケットスピードⅡ

大循環分析とは？

3本の線の並び順(ステージ)は全部で6つ

そのステージは約7割の確率で大循環する
(①②③④⑤⑥①②・・・と時計回りで推移)

残りの3割は反時計回りで推移、それ以外はない

その中で第1ステージ、第4ステージの中にエッジがある局面がある

このことを知っているのと知らないのでは大いに差が付く

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

外国為替証拠金取引（FX）のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引（FX）は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引（FX）は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引（FX）の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引（FX）の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

〔楽天FX〕

レバレッジコースに応じて取引金額の4%～100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

〔楽天MT4〕

想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。

(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

*当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

スプレッドについて（例外あり）

通常時は広告表示のスプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下又は売買が一方に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。

なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

- 平日早朝時（概ね6時30分～7時30分※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）
- 国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）
- 主要経済指標の発表前後
- 震災などの天変地異や政変又は金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

CFD取引にかかるリスクと費用等について

CFD取引にかかるリスク

CFD取引は、お取引の対象となる銘柄の価格変動、金利相当額、配当相当額、価格調整額の支払い、各国の経済、社会情勢、金融政策、金融指標等の変動により損失が生じるおそれがあり、投資元本が保証されたものではありません。また、CFD取引は差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため大きな損失が発生する可能性があり、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

CFD取引にかかる費用等

CFD取引の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各銘柄の売付価格と買付価格には差（スプレッド）があります。スプレッドは銘柄ごとに異なります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

証拠金について

〔楽天CFD〕

取引金額に対して、指数CFDは10%以上、商品CFDは5%以上、バラエティCFDおよび株式CFDは20%以上の証拠金が必要となります。
(楽天CFDのお取引は現時点では個人口座のみとなります。)

〔楽天MT4CFD〕

個人口座、法人口座ともに取引金額に対して、MT4証券CFDは10%以上、MT4商品CFDは5%以上の証拠金が必要となります。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスクと費用等について

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかるリスク

当社の取扱う店頭通貨バイナリーオプションは満期時（判定時刻）に権利が自動行使されるヨーロピアンタイプのオプション取引です。取引対象である通貨の価格変動が予測通りとなった場合には利益が得られることもある反面、予想が外れ権利が消滅した場合、支払ったオプションの購入金額を全額失うこととなります。また、オプションの購入価格と売却価格には差（スプレッド）があり売却時に損失を被る可能性があります。

店頭通貨バイナリーオプション取引にかかる費用等

店頭通貨バイナリーオプション取引の取引手数料は無料です。

オプションの購入価格について

1枚あたりの最大購入価格は999円です。

商号等：楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会